

確定申告に備えて準備を

確定申告書は自分で作成し 早めに提出を

所得税の還付申告は1月5日(月)から税務署で受け付けています。

確定申告期間は2月16日(月)～3月16日(月)の1カ月間で受け付けますが、期間中の確定申告作成会場は大変混雑します。

例年どおり成田税務署では2月2日(月)から確定申告作成会場を「イオンモール成田」で開設しますが、医療費控除や住宅借入金等特別控除などの還付申告は、お早めに済まされることをお勧めします。

※詳しくは左記へ。

成田税務署 (☎285151)。

国税電子申告(e-Tax)でネットから確定申告

税務署に行かなくても、自動計算で便利な国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で作成したデータは、インターネットを利用して提出(送信)できます。

医療費の領収書や源泉徴収票などは、その記載内容を入力して送信することで、提出または提示を省略することができると(法定申告期限から5年間、税務署から書類の提出または提示を求められることがあります)、還付申告は3週間程度で処理さ

れるなどの利点があります。e-Taxを利用するには①電子証明書、②ICカードリーダライターの取得が必要です。また、e-Taxの準備が間に合わない人は、e-Taxのメリットはありませんが、申告書などのデータを印刷して、郵送などで提出することもできます。詳しくは、国税庁のホームページ(<http://www.nta.go.jp>)をご覧ください。左記へお問い合わせください。

成田税務署 (☎285151)。

償却資産の申告は1月30日(金)まで

償却資産(土地・家屋以外の事業用資産で、機械、備品など)は土地や家屋と同様に固定資産税の課税対象となり、償却資産を所有する人(個人・法人)は、資産の多少にかかわらず毎年申告が必要とす。

申告期限は1月30日(金)です。忘れずに申告してください。申告対象と思われる人には申告書を送付しましたが、市内に償却資産を所有する人で申告書が届いていない場合は、左記までご連絡ください。

成田税務課家屋班 (☎内線332)。

申告書は1月下旬に配置

平成27年度市民税・県民税申告書、平成26年分の所得税の確定申告書などは、1月下旬から市役所市民税課に配置する予定です。市内の印旛支所・本笠支所・各出張所にも配置しますが、数に限りがありますので、ご了承ください。

お急ぎの場合は、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)「確定申告書等作成コーナー」で「書面提出」を選択すると、パソコンで申告書の作成、印刷ができます。

ぜひご利用ください。

市民税課市民税班 (☎内線323326)。

e-Tax(所得税電子申告、納税)を利用されるみなさんへ

所得税の確定申告書の提出を、e-Tax(所得税電子申告、納税)を利用して行う人が近年増えています。このe-Taxを利用するには、住民基本台帳カード(住基カード)と電子証明書の取得が必要です。

市では、平日来庁できない人のために左表のとおり、取得の申請を受け付けます。

●本人確認とパスワード設定を行います。必ず申請者本人が行います。

●日程表●

場所	日程	時間
市役所市民課	2月7日(土)	午前8時30分～正午
	3月7日(土)	午前8時30分～正午
印旛支所市民サービス課	2月21日(土)	午前8時30分～正午

※手続きに時間を有するため、いずれも申請は11時30分までとします。

続きしてください。

●必要なもの：次のとおり。

- ①運転免許証、パスポートなどの官公署が発行した顔写真付きの証明書(有効期限内のもの)。
- ②写真付住基カードを希望の場合は、写真1枚。(上半身、無帽、正面、無背景で、6カ月以内に撮影したもの。縦4・5cm×横3・5cm)。

※すでに住基カードを持っている人で、電子証明書を申請される場合は、必ず住基カードをお持ちください。

住基カード500円、電子証明書500円。

なお、運転免許証などの官公署が発行した顔写真付きの証明書をお持ちでない人は、事前にご相談ください。

住基カードおよび電子証明書の取得】市民課住民記録班(☎内線234・237)、印旛支所市民サービス課市民福祉班

成田税務署関係六団体『消費税・地方消費税の完納』を宣言

平成26年11月11日、千葉県税理士会成田支部、一般社団法人成田青色申告会など成田税務署関係六団体で構成する成田税務署団体長会による『消費税・地方消費税完納宣言式』が行われました。宣言式では、成田税務署団体長会柴崎達夫会長が渡辺貞彦成田税務署長・向後友夫佐倉県税事務所長・板倉市長ら出席者を前に「消費税・地方消費税完納推進」を宣言した後、宣言書が出席者に交付されました。この宣言式は、消費税及び地方消費税の税率が平成26年4月に8%に引き上げられ、今後消費税及び地方消費税の滞納増加が懸念されることから、成田税務署関係六団体が滞納の未然防止を図るため、消費税及び地方消費税の適正申告と期限内完納を地域全体で推進していくことを目的に開催したものです。成田税務署関係六団体では、この宣言式を契機に、「消費税・地方消費税完納推進」に向けた各種の取組を行っていきこととしています。

成田税務署 (☎285151)。

e-Tax(所得税電子申告、納税)の有効期間にご注意を

e-Taxを利用するための電子証明書には有効期間があります。有効期間は、証明書の発行日から起算して3年となり、有効期間が満了すると失効し、電子申告などに使用できません。

平成24年に電子証明書を取得した人は、本年にその有効期間が満了となります。効力が失われると、再度電子証明書の申請(更新手続き)が必要です。

すでに電子証明書を取得し、今年e-Taxを利用される人は、ご自分の電子証明書の有効性をご確認ください。

有効性の確認は、「公的個人認証ポータルサイト」(<http://www.jpki.go.jp>)の「オンライン窓口」で確認できます。市民課住民記録班。

平成27年印西市消防出初式

新春にあたり、消防職団員の士気高揚をはかり、職務遂行への決意を新たにするため、次のとおり平成27年印西市消防出初式を挙行政します。式典はどなたでも見学できます。

時 1月10日(土)・午前10時～。
場 松山下公園総合体育館(浦部)。
関 防災課防災班 (☎内線453)。



新春恒例行事の一つです(写真は昨年の様子)

印西市の主な出来事

●順天堂大学と各分野で連携協定を強化(1月)
教育、文化、健康福祉、まちづくりなどの分野で地域が持つ資源を最大限に活用し、地域の可能性を創出するため、より一層の連携協定を目的に順天堂大学と包括的連携協定を締結しました。

●ホテルマークワンと災害発生時の協力協定を締結(3月)
大規模災害時に帰宅困難者が発生した場合、地域の混乱を回避し帰宅困難者の安全を確保することを目的に、災害発生時の協力に関する協定をホテルマークワン(株)と締結しました。

●北総鉄道の「通学定期運賃」は現状維持(4月)
「北総鉄道の運賃問題に関する協議」で、北総鉄道(株)から「通学定期運賃」を平成36年度まで据え置くことが確認されました。

●国道464号北千葉道路(掘削部)が開通(7月)
印西牧の原駅から印旛日医大駅の間で延伸工事が進められていた3・5kmの区間が開通しました。これにより市内を横断する国道464号の全線がつながりました。

●インターハイ空手道競技が市内で開催(8月)
インターハイ空手道競技が松山下公園総合体育館で開催され、全国から代表選手が集い、美しい演武と迫力ある技を競い合いました。延べ18,000人が印西市を訪れました。

●小中学校教室へのエアコン導入が市議会で可決(9月)
第3回市議会定例会で全小中

学校分(1校を除く)の設計費として補正予算が出され、全会一致で可決されました。今後、エアコンの設置に向けて平成26年度に設計をし、平成29年度までに設置する予定です。

●IFSCクライミングワールドカップ2014-IJNZAI大会が市内で開催(10月)
クライミング(リード競技)のワールドカップが松山下公園総合体育館で開催され世界15カ国の選手が参加し、トップレベルのクライミングを競い合いました。

●小林駅「橋上駅舎」と「自由通路の一部」が暫定利用開始(11月)
JRと市が共同で進めていた小林駅舎等整備推進事業の一部が完了しました。これに伴い「橋上駅舎」と「自由通路の一部」が暫定的に利用開始となりました。

●次期中間処理施設の建設候補地が決定(11月)
用地検討委員会が5カ所(岩戸地区・滝地区・武西地区・吉田地区・現在地)の候補地を比較評価した結果を受け、組合の管理者、副管理者による現地確認と協議を経て次期中間処理施設の候補地を「吉田地区」に決定しました。

●世界体操選手権で活躍の加藤凌平さん(順天堂大学)に市民栄誉賞(12月)
2014年世界体操選手権で団体総合の銀メダルに大きく貢献し、同大会種目別平行棒でも銅メダルを獲得するなど、スポーツの分野で輝かしい活躍をし、その功績が顕著であることから、市で初となる「印西市市民栄誉賞」が授与されました。

凡例 曜日 会場 内容 対象 定員 参加費 申し込み 問い合わせ ホームページ メールアドレス その他 携帯帯電話